

## 第59回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会②】

日時：2025年9月3日（水）

全体会・部会①・部会②・部会③10:00～12:00（予定）

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口

### 次 第

#### 【部会②】

(1) 開会

(2) 品川駅街区北棟ビル工事に伴う品川駅高輪口交番の仮移転工事の施工について  
【資料1】

(3) 品川駅高輪口交番仮移転に伴う調査について  
【資料2】

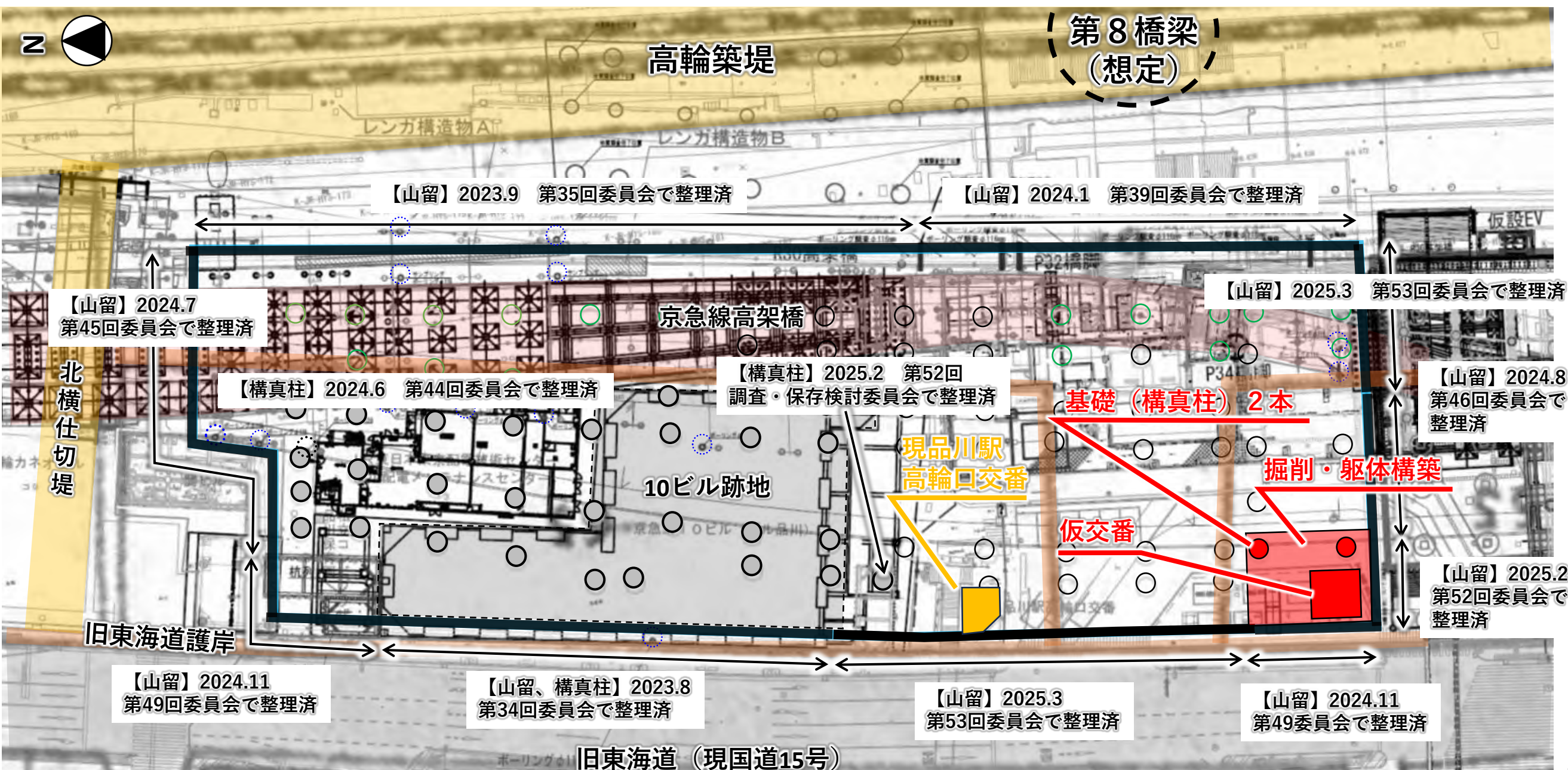
(4) その他

(5) 閉会

北棟ビル西側山留工事を行うために、品川高輪口交番を仮移転する必要がある。ついでには事業スケジュール厳守のため、以下の仮移転に関する工事に着手したい。

### 1. 着手希望工事内容

- ・基礎(構真柱) 2本 杭径:2.8m 掘削長:36.2m(杭下端:TP-31.3m)
- ・掘削 約1,400m<sup>3</sup>(TP+4.9m~-1.0m)(※発掘調査済範囲の約500m<sup>3</sup>を含む)
- ・躯体構築 約200m<sup>2</sup>(鉄骨鉄筋コンクリート造・1Fおよび2F)
- ・仮交番 1棟 約54m<sup>2</sup>



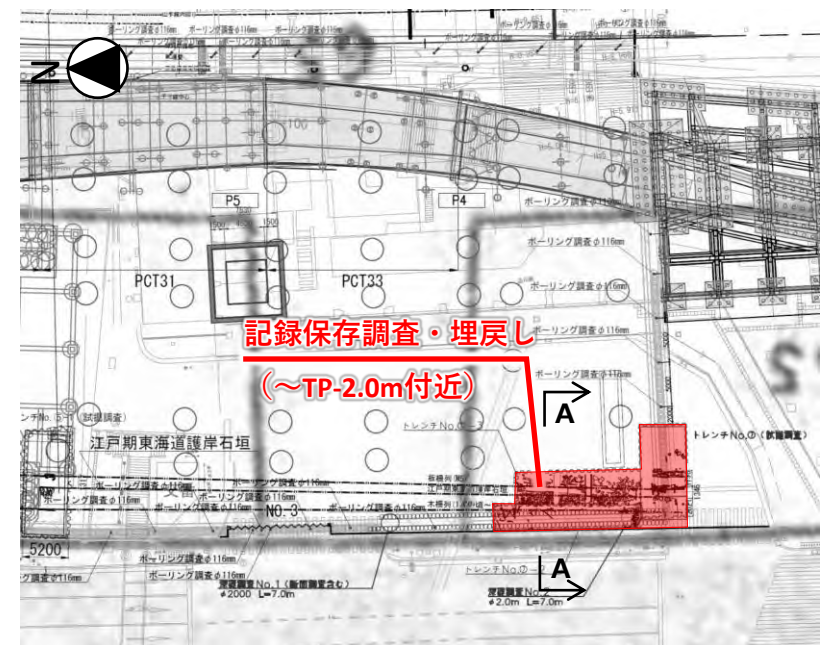
【凡例】 ■ 施工中 ■ 施工完了   発掘調査済範囲

## 2. 施工ステップ図(平面図、断面図)

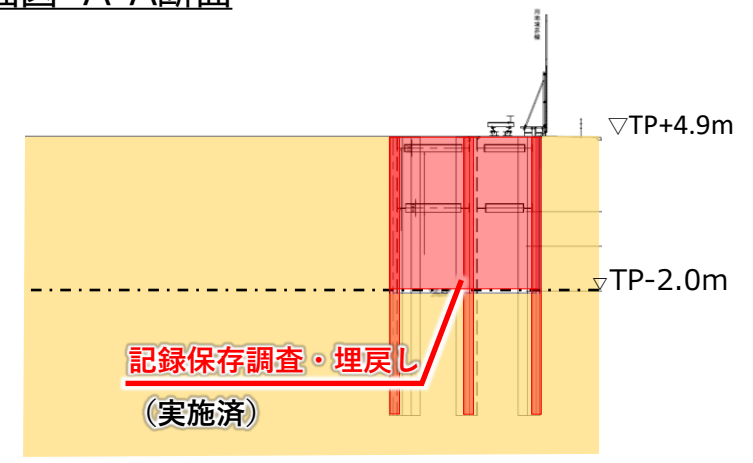
### 【実施済】 山留施工部の発掘調査実施・埋戻し

トレンチ⑦、⑦-2、⑦-3における旧東海道護岸の記録保存調査・埋戻し

平面図



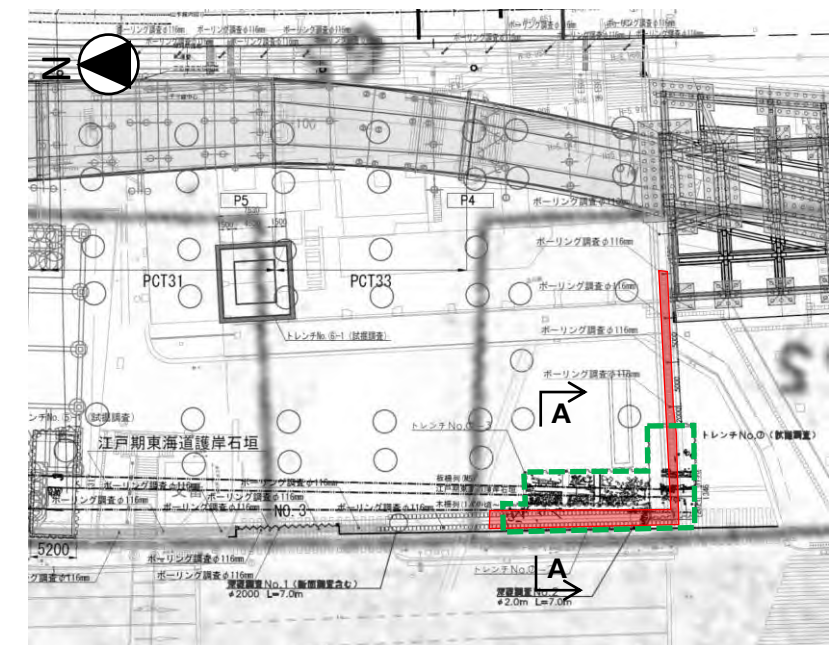
断面図 A-A断面



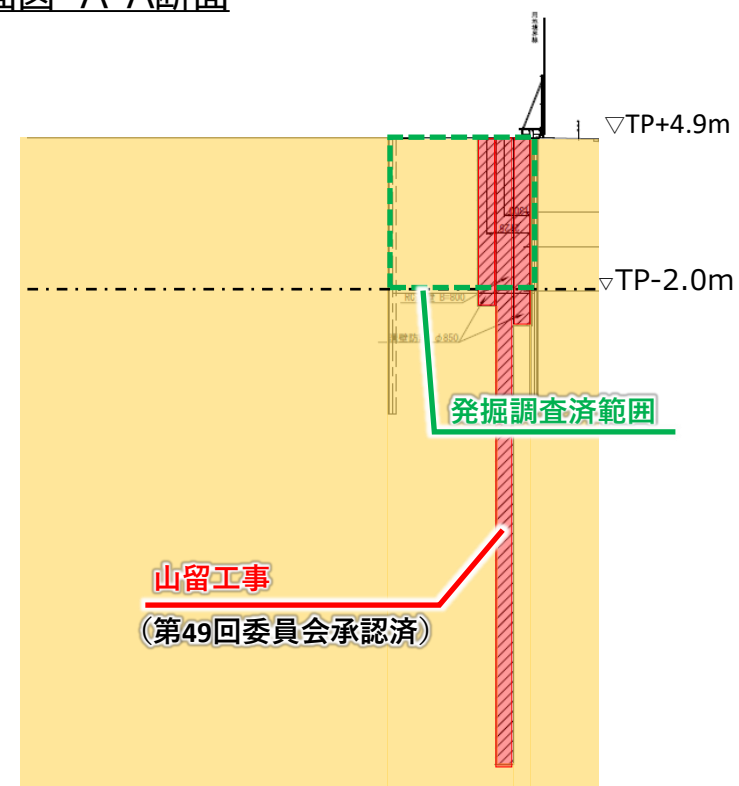
### 【STEP1】 山留施工

躯体構築に必要となる山留を構築

平面図



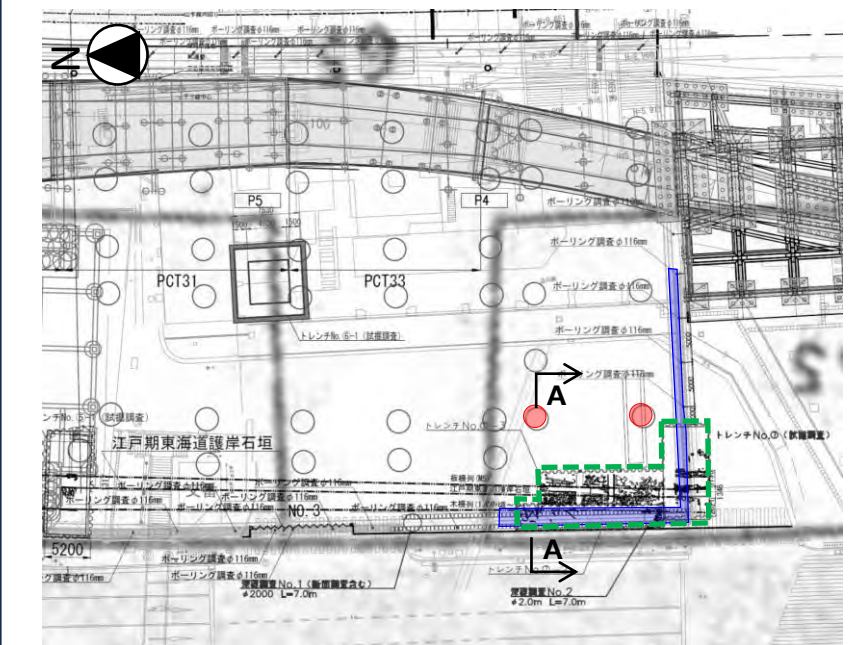
断面図 A-A断面



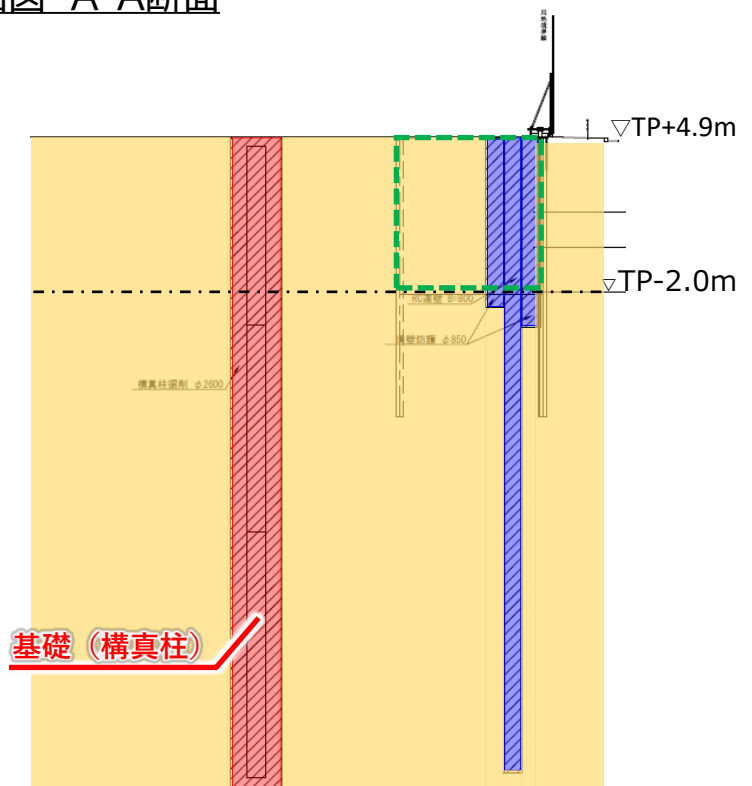
### 【STEP2】 基礎(構真柱)構築

躯体構築に必要となる基礎(構真柱)の機械掘削・建込

平面図



断面図 A-A断面



【凡例】  
■ 施工中  
■ 施工完了   発掘調査済範囲

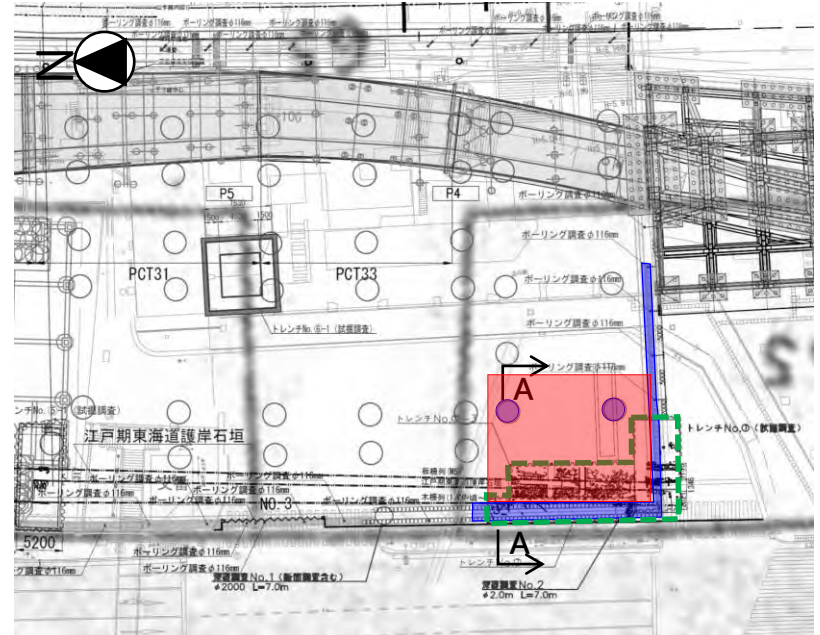
※施工ステップは、今後の関係者協議等により変更となる場合がある。

【凡例】 ■ 施工中 ■ 施工完了   発掘調査済範囲

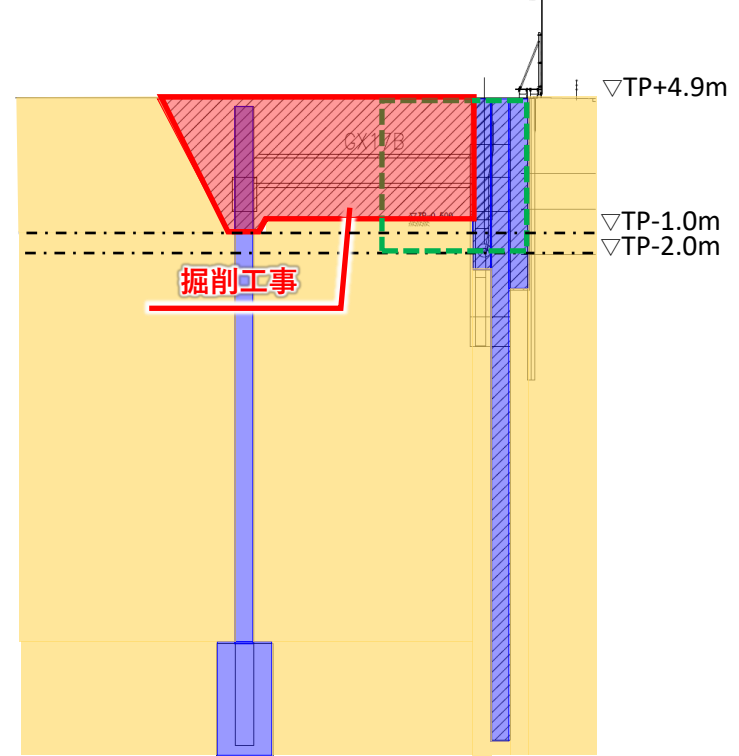
【STEP3】 掘削

躯体構築作業に必要な範囲について  
TP4.9m~-1.0m付近まで掘削

平面図



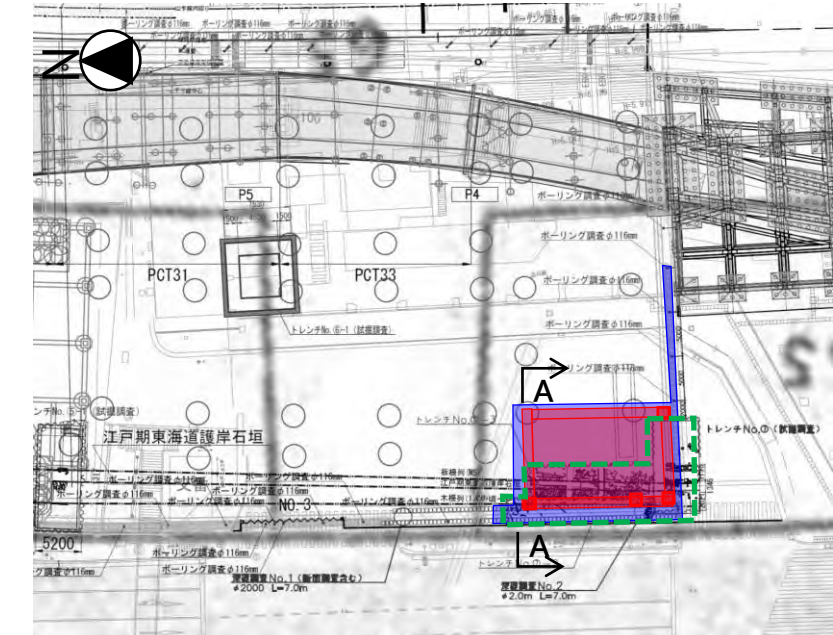
断面図 A-A断面



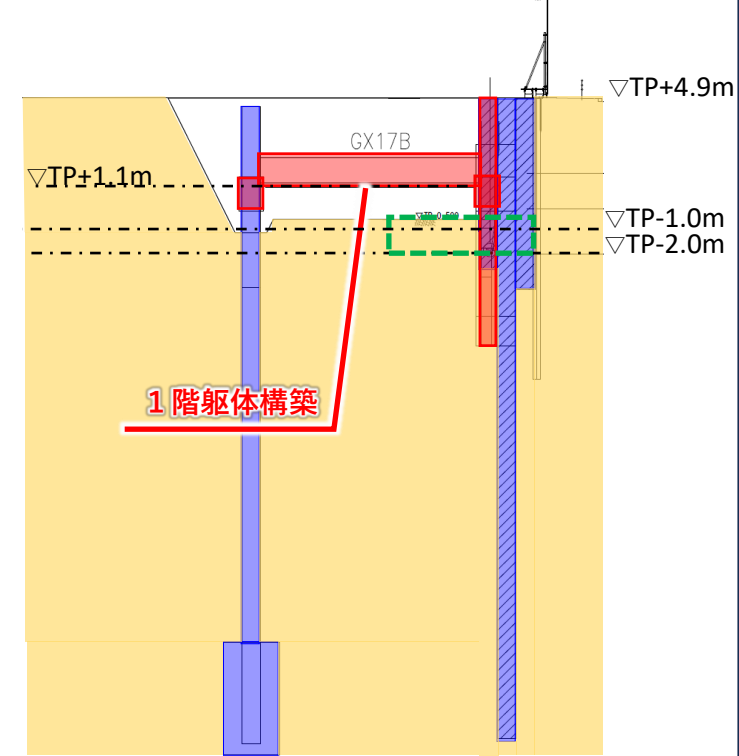
【STEP4】 1階躯体構築

1階躯体(梁・床面・地中内壁)を構築

平面図



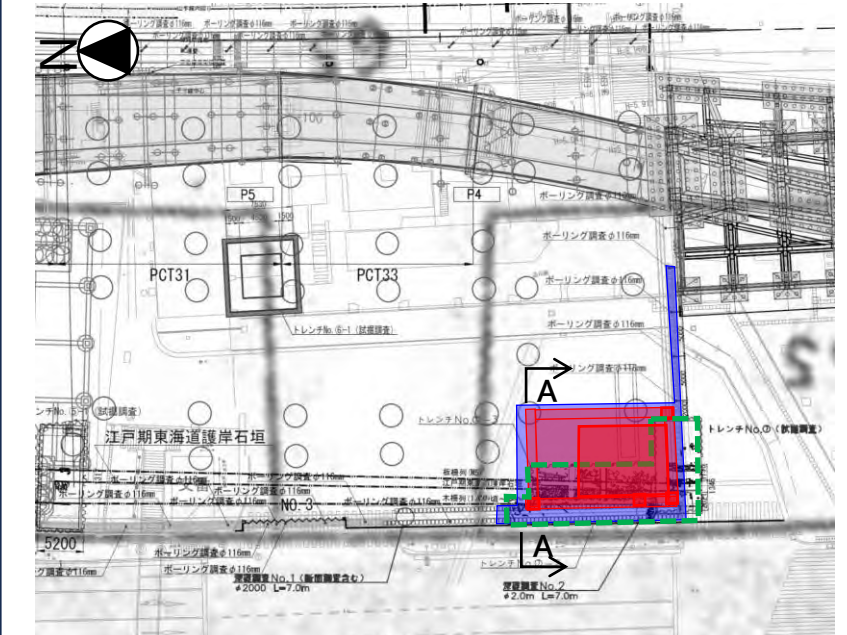
断面図 A-A断面



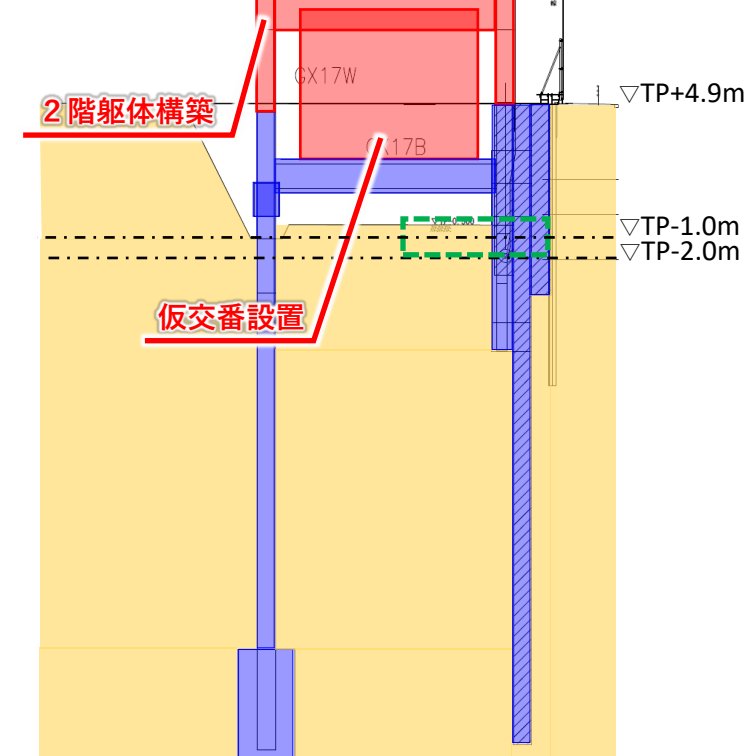
【STEP5】 仮交番設置・2階躯体構築

仮交番設置・2階躯体(梁・床面)構築

平面図



断面図 A-A断面



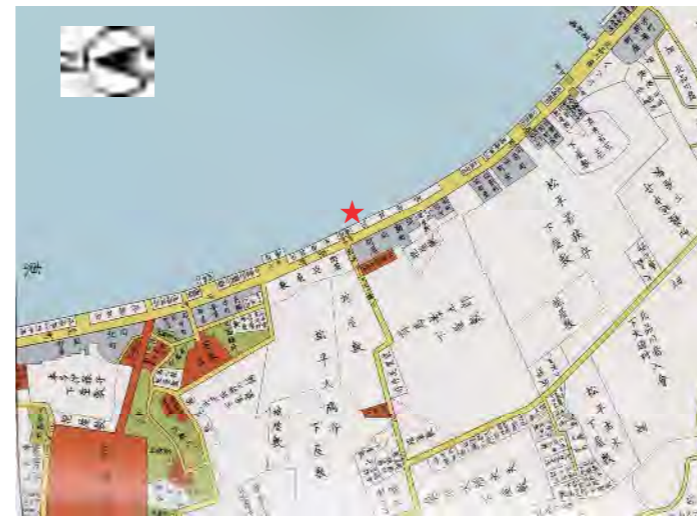
※施工ステップは、今後の関係者協議等により変更となる場合がある。

# 品川駅高輪口交番の仮移転に伴う調査について

【資料2】

【周辺の地歴】 ※★は今回の調査地点

- ・江戸時代～明治5年の鉄道開業までは海、もしくは高輪海岸の護岸が築かれている。(図①)
- ・明治5年に高輪海岸の護岸石を取り外して高輪築堤に転用。代わりに板柵で補修を行う。(調査済。第46回本委員会資料ほか参照)
- ・明治9年には東側の築堤と西側の旧東海道に挟まれた水域となる。(図②)
- ・明治20年には、第8橋梁南北横仕切堤の外側で陸地化が進むが、両仕切堤の内側は水域のままである。(図③)
- ・明治30年には陸地化し、地番が付される。(図④)



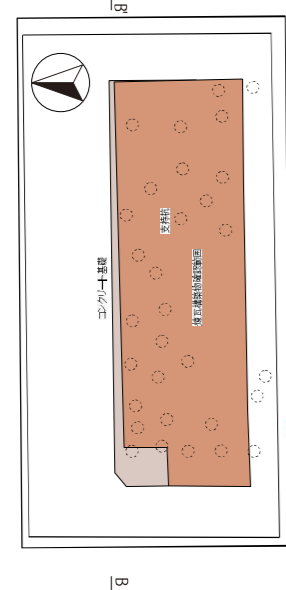
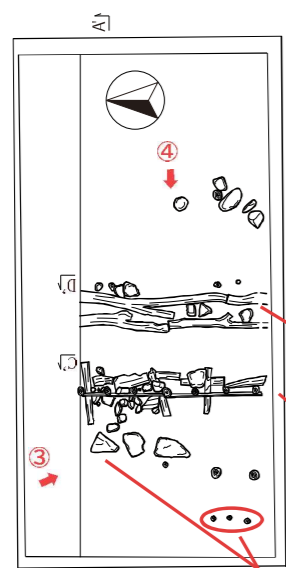
図① 「御府内場末往還其外沿革図書」 弘化3 (1846) 年より



図② 「明治東京全図」 明治9 (1876) 年より

第46回高輪築堤調査・保存等検討委員会 (2024年8月7日開催) 資料より抜粋

## トレンチ7の調査成果について



A: 木柵列 (17C中～?)

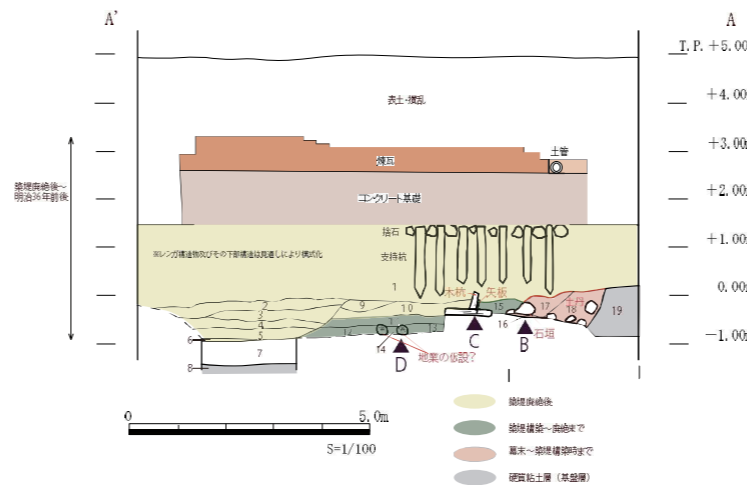
トレンチ平面図 (S=1/100)  
上: 4段目 / 下: 2段目



トレンチ平面写真 (No Scale)

## 【資料2-4】

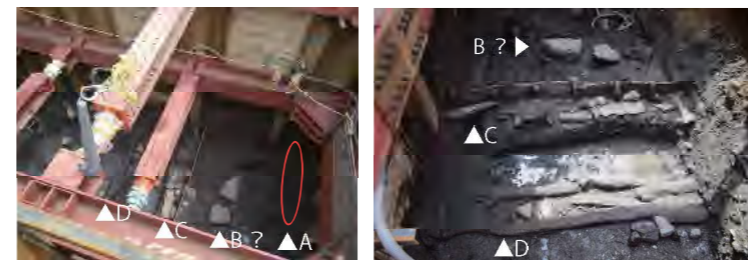
トレンチ断面図 (S=1/100)



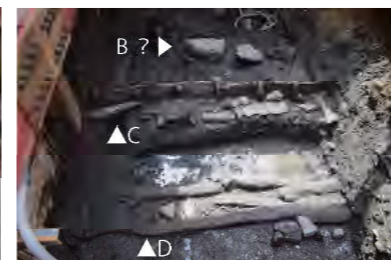
①レンガ構造物上面検出状況 (北東から)



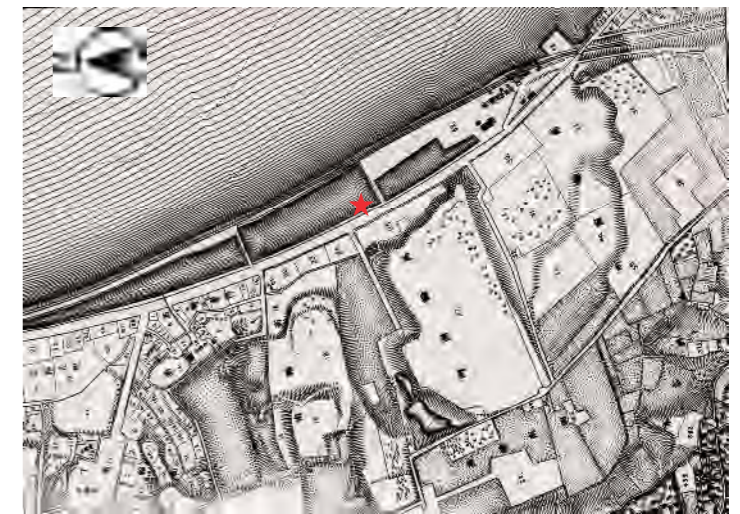
②レンガ構造物検出状況 (北東から)



③構造物A～D検出状況 (北西から)



④構造物B～D検出状況 (東から)



図③ 「東京実測図」 明治20 (1887) 年より



図④ 「東京芝区全図」 明治30 (1897) 年より

【想定される遺構 (調査対象となるもの)】

- ①埋め立て後 (明治30年以降) の構造物 (例) レンガ構造物、排水溝、建物基礎等
- ②埋め立て以前の構造物 (土取り穴等)